

経営倫理研究所

Epistemic Research Institute of Social Ethics (ERISE エリス)

研究所の概要

1. 目的

応用情報社会学（Applied Infosociomics）の近代文明の応学（Adapteering）進化の考え方立脚して、グローバル・サウス諸国と連携し、グローバル・サウス諸国が主導する「21世紀パラダイム」の世界システム構築を進める



所長

前田 充浩

MAEDA Mitsuhiro

2. 設置期間

2017年4月1日～2027年3月1日

3. メンバー

20名（所長を除く）

4. 活動概要

海外の提携大学／政府関係機関等との共催セミナーの開催、協働プロジェクト／協働研究の推進等

キーワード

経営倫理、近代化、グローバリゼーション、
情報社会学、グローバル・サウス、
応学

令和6（2024）年度の研究活動内容及び成果

1. 活動内容

（1）近代文明応学進化論研究

本研究所が世界学会（Global Society of Applied Infosociomics : Glo-SAI）の事務局を務める応用情報社会学（Applied Infosociomics）上の主要概念である近代文明の応学進化について、世界中の連携大学等との協働研究を推進する。

（2）デジタル人材育成（d-HRD）コネクティビティ研究

グローバル・サウスの地方都市の発展戦略として、世界標準化されたデジタル人材育成カリキュラムを活用することにより、それら地方都市のIT産業とグローバル市場との連結を推進する研究／実践を、現地の連携大学等との協働によって推進する。

（3）グローバル・サウス発展戦略（「リープフロッギング型発展戦略」）研究

21世紀グローバル・サウス諸国の「多様性（diversified）」発展戦略としての「リープフロッギング型発展戦略」に関して世界中の連携大学との協働研究を推進し、T20（Think Tank 20、G20サミットに直接政策提言を行うG20諸国の学術機関の連携組織）のプラットフォームにおいて発表／政策提言を行う。

（4）地球環境問題対策適応政策（流域生態系強化型都市開発・新たなカーボン・クレジット市場の創設）研究

地球環境問題対策の新たな適応政策としての流域生態系強化型都市開発及び新たなカーボン・クレジット市場の創設について、世界中の連携大学との協働研究を推進し、各国政府等へ政策提言を行う。

2. 成果

(1) 近代文明応学進化論研究

以下を実施した。

- ① 2024 年度 APEN (Asia Professional Education Network) 年次総会セミナーにおける「近代文明進化論」の講演（ジャカルタ、2024 年 10 月 17 日）



- ② Asia Institute of Innovation との共催「DX (Digital Transformation) セミナー」の実施及び基調講演（キリロム、2025 年 1 月 16 日）



- ③ キルギス共和国国家戦略研究所
(National Institute of Strategic Institute) Dinara Duyshenkul 次長との協議
(ビシュケク、2025 年 3 月 27 日)



- ④ キルギス共和国大統領府投資委員会
Uluk Kydyrbaev 事務局長との協議
(ビシュケク、2025 年 3 月 27 日)



- ⑤ キルギス共和国教育省
Lira Samykbaeva 副大臣との協議
(ビシュケク、2025年4月1日)



- ⑥ Ala-too 大学との共催「DX セミナー」
の実施及び基調講演
(ビシュケク、2025年4月1日)



- ⑦ Light Academy との共催「近代文明
進化セミナー」の実施及び基調講演
(ビシュケク、2025年4月3日)



- ⑧ キルギス共和国 Ministry of Digital
Development and Innovation
Daniiar Bakchiev 国際協力局長との
協議
(ビシュケク、2025年4月4日)

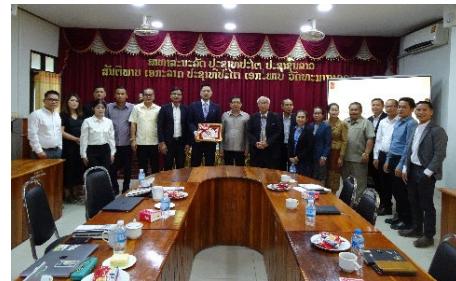


(2) デジタル人材育成 (d-HRD) コネクティビティ研究
以下を実施した。

- ① Cipasung University との共催「デジタル人材育成による地方振興セミナー」
の実施 (タシクマラヤ、2024年10月19日)



- ② Chanpasak 大学との共催「デジタル人材育成による地方振興セミナー」の実施
(パクセー、2025年3月14日)



- ③ Kyrgyz-Uzbek University,
Professor Abdilbaiet
Mamasyidikov 学長との協議
(オシュ、2025年3月28日)



- ④ キルギス国家大学 Daisuke
Takahara 日本研究所長との協議
(ビシュケク、2025年4月2日)



- ⑤ Salymbekov University
Esengeldi Zhumadilov 学長
との協議
(ビシュケク、2025年4月4日)



(3) グローバル・サウス発展戦略（「リープfrogging型発展戦略」）研究
以下を実施した。

- ① T20 サイド・イベント・セミナー『A High-level T20 side event reflecting Global South Aspirations : Innovative Strategies for Disaster Resilience』における基調講演（リオ、2024年11月13日）

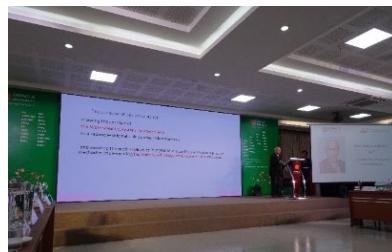


(4) 地球環境問題対策適応政策（流域生態系強化型都市開発・新たなカーボン・クレジット市場の創設）研究

以下を実施した。

① Dong A 大学（ダナン）との共催「地球環境問題対策セミナー」の実施

（ダナン、2024年4月17日）



② ERIA (Economic Research Institute for ASEAN and East Asia) との共催
「カーボン・クレジット市場ワークショップ」の開催

（ジャカルタ、2024年7月25日）



③ ラオス農林水産省農林水産研究所
(NAFRI : National Agriculture and Forestry Research Institute) との共催
「地球環境問題対策ワークショップ」の実施

（ビエンチャン、2024年9月4日）



④ ERIA (Economic Research Institute for ASEAN and East Asia) 地球環境
セミナーにおける基調講演

（ビエンチャン、2024年9月5日）



⑤ Darma Persada 大学との共催「カーボン・クレジット市場ワークショップ」
の実施

（ジャカルタ、2024年10月23日）



- ⑥ カンボジア・スタートアップ・センターとの
「カーボン・クレジット市場ワークショップ」の実施
(プノンペン、2025年1月25日)



- ⑦ カンボジア・スタートアップ・センターとの「カーボン・クレジット市場ワークショップ」の実施
(プノンペン、2025年3月5日)



令和7（2025）年度の計画

（1）近代文明応学進化論研究

- ・引き続き、本研究所が世界学会（Global Society of Applied Infosocionomics : Glo-SAI）の事務局を務める応用情報社会学（Applied Infosocionomics）上の主要概念である近代文明の応学進化について、世界中の連携大学等との協働研究を推進する。

（2）デジタル人材育成（d-HRD）コネクティビティ研究

- ・引き続き、グローバル・サウスの地方都市の発展戦略として、世界標準化されたデジタル人材育成カリキュラムを活用することにより、それら地方都市のIT産業とグローバル市場との連結を推進する研究／実践を、現地の連携大学等との協働によって推進するとともに、連携大学を拡大する。

（3）グローバル・サウス発展戦略（「リープfrogging型発展戦略」）研究

- ・21世紀グローバル・サウス諸国の「多様性（diversified）」発展戦略としての「リープfrogging型発展戦略」に関して世界中の連携大学との協働研究を推進し、南アで開催されるT20（Think Tank 20、G20サミットに直接政策提言を行うG20諸国の学術機関の連携組織）のプラットフォームにおいて発表／政策提言を行う。

（4）地球環境問題対策適応政策（流域生態系強化型都市開発・新たなカーボン・クレジット市場の創設）研究

- ・引き続き、地球環境問題対策の新たな適応政策としての流域生態系強化型都市開発及び新たなカーボン・クレジット市場の創設について、世界中の連携大学との協働研究を推進し、各国政府等へ政策提言を行う。特に、カーボン・クレジット市場の創設については実装を進める。